
ミレニアムの夢～携帯版～

亜久里 恵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミレニアムの夢〜携帯版〜

【Nコード】

N4304Q

【作者名】

亜久里 恵

【あらすじ】

一話完結の恋愛ショートショートです。一応あるものを擬人化したイメージで書いています。

携帯用に改行やスペースを増やしています。

生まれたときから、ずっとずっと恋してる。

あなたを見たその時から、私の心はあなたのもの。

あなたに近づきたくて、必死にあなたを追いかけるけど、あなたは振り向くことはない。

私を見て、私だけを愛してと、そう思うけど、あなたはこの世界の絶対神。

すべての民を愛している。

ああ、あなたの光が闇夜を貫く。

あなたの愛が光となって、この世を照らす、この瞬間が今の私のさやかな幸せ。

「姫」

私を呼ぶ声がある。

でも、それは私が恋焦がれる光の神の声ではない。

「また、光の神を見ていたのですか」

そして、私を抱きしめるあなたが、私は憎い。

見えぬ鎖で私を捕らえ、放さぬあなたが涙が出るほど恨めしい。

「わたくしを解放してください。海の王」

彼の答えは常に同じ。

「それは、できません。愛しき人」

初めて会ったその時から、私の望みを知っているのに、それを阻む海の王。

光の神の下へと飛んでいる私をその力で捕らえたあなた。

あなたが私を想ってくれていることは、知っている。

でも、私の心は光の神だけのもの。

受け入れることなどできはしない。

「わたくしは、あなたの想いに答えられません」

それでも海の王の青き瞳は揺るがない。

「わかっています。ですが、あなたを解き放つ事はできません」

「どうして!」

海の王は哀しそうに微笑みながら、いつも同じ言葉を発する。

「あなたがいなくなれば、私は哀しみに溺れ、私が守るべき、地上の命を滅ぼしてしまうでしょう」

「そんなのわたくしには関係のないことです」

そして海の王は私の身体を強く抱きしめる。

「その通りです。あなたに身勝手だと、詰られても、理不尽なことをしていると分かっている、あなたを失いたくないんです」

そうやって、私はいつもこの方の腕に捕らわれる。

だけど、海の王の腕の中で、私はいつも夢見ている。

光の神とともにこの空で一緒に輝ける『そのとき』を。

＊

腕の中で身体を硬くし、心を閉ざす愛しき姫。

分かっている。

姫の心には光の神しかいないのを。

だが、姫を一目見たその時から、私の心は捕らわれた。

そして、我が手は無意識に姫へと伸び、そして私の傍へと縛り付けた。

心が手に入らぬのなら、体だけでもと。

だが、そう思いながらもかすかな望みにすがりつく。

いつか私を見てくれるのでは？

ミレニウム。

新しい世界の幕開け。

わたしは、いつも夢見てる。

姫が私を愛してくれる。

そんな世界の幕開けを。

「あなたを一生放さない。愛しています。冷たく、そして美しい白銀の月姫よ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4304q/>

ミレニアムの夢～携帯版～

2011年5月14日09時55分発行